

研究成果展開事業
研究成果最適展開支援プログラム
(A-STEP)
フィージビリティスタディーステージ
～平成23年度第2回公募～

平成23年8月

産学連携展開部
事業推進(募集・探索)担当



独立行政法人科学技術振興機構(JST)の概要

■機構の目的

第3期科学技術基本計画(平成18年3月28日閣議決定)の実施において中核的な役割を担う機関として、わが国のイノベーション創出の源泉となる知識の創出から研究成果の社会・国民への還元までを総合的に推進するとともに、その基盤となる科学技術情報の提供、科学技術に関する理解増進活動、戦略的国際活動等を推進する。

研究者の自由な発想に基づく研究

選択と集中

the Innovation system of JAPAN <イノベーションの創出を担うJSTのシームレスな活動>

技術シーズの創出を目指す 課題解決型基礎研究

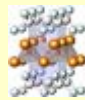
国の科学技術政策や社会的・経済的ニーズを踏まえ、国が定めた戦略目標の達成等に向けた課題解決型基礎研究を推進

- 戦略的創造研究推進事業
 - 新技術シーズ創出 (ERATO、CREST、さきがけ)
 - 先端的低炭素化技術開発
 - 社会技術研究開発 等

【成果事例】



iPS細胞



鉄系高温超伝導物質

研究成果の社会還元を目指す 産学連携・技術移転

大学等の優れた研究成果の社会還元を目的とした産学連携・技術移転を推進

- 研究成果展開事業
 - 研究成果最適展開(A-STEP)
 - 産学共創基礎基盤
 - 先端計測分析技術・機器開発
 - 戦略的イノベーション創出推進
- 知財活用支援事業

【成果事例】



抗インフルエンザマスク



青色LED

実用化
技術開発

民間企業

イノベーション創出を指向した研究開発

科学技術情報の流通促進

研究開発に係る情報を総合的に活用するための基盤整備



文献情報、研究者・研究機関情報等の収集及び発信

科学技術の国際共同研究

科学技術外交の強化に向けて、科学技術ODAによる開発途上国等との共同研究や先進国との共同研究を推進

低炭素化技術、感染症、安心・安全等

科学コミュニケーションの推進

子どもたち、家庭、市民、科学者、為政者などの間に双方向の科学コミュニケーションの場を推進

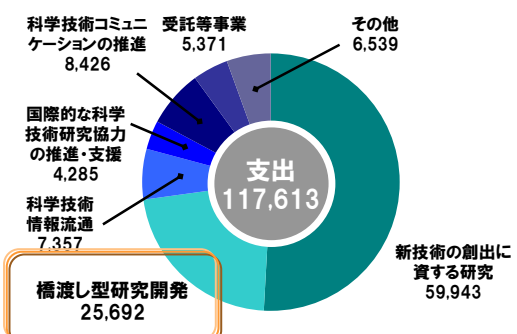
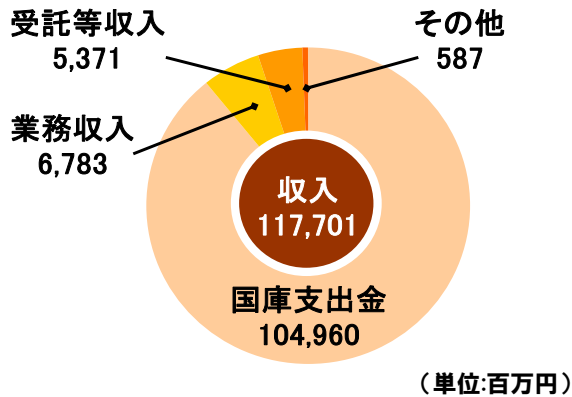
- スーパーサイエンスハイスクール支援事業
- サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト
- 日本科学未来館事業 等



イノベーション創出を促進する基盤整備

平成23年度の事業予算案

■平成23年度(平成22年度)
 総事業費 1,176億円(1,112億円)
 運営費交付金 1,048億円(1,027億円)
 対前年度+2.1%



↑
産学連携・技術移転支援事業

1. 知財活用支援事業

() 内は平成22年度

※文部科学省 研究環境・産業連携課 所管 26億円 (22億円)

- 特許化支援 ● 科学技術コモンズ ● あっせん、実施許諾
- イノベーション・ジャパン(大学見本市) ● 研究成果の公開(J-STORE、e-seeds.jp)
- 新技術説明会 ● 産から学へのプレゼンテーション ● 技術移転相談窓口
- 技術移転目利き人材育成プログラム ● ポータルサイト(産学官の道しるべ)
- 知財活用促進ハイウェイ「大学特許価値向上支援」

2. 研究成果展開事業

※文部科学省 研究環境・産業連携課 所管 229億円 (228億円)

- **研究成果最適展開支援プログラム A-STEP(公募) [募集中!]**
- ・ 公募窓口を一本化: フィージビリティスタディ(FS)から本格研究開発まで幅広い技術移転フェーズが対象
探索タイプ 9/15✕
シーズ顕在化、起業検証 9/20✕
- ・ 複数の支援タイプを組み合わせることで長期の研究開発が可能
- ・ 外部有識者・JSTにより開発計画の最適化により効果的・効率的な研究開発を実施

● 先端計測分析技術・機器開発プログラム(公募)

産学連携による革新的な先端計測分析技術の研究開発などを推進

● 産学共創基礎基盤研究プログラム(公募)

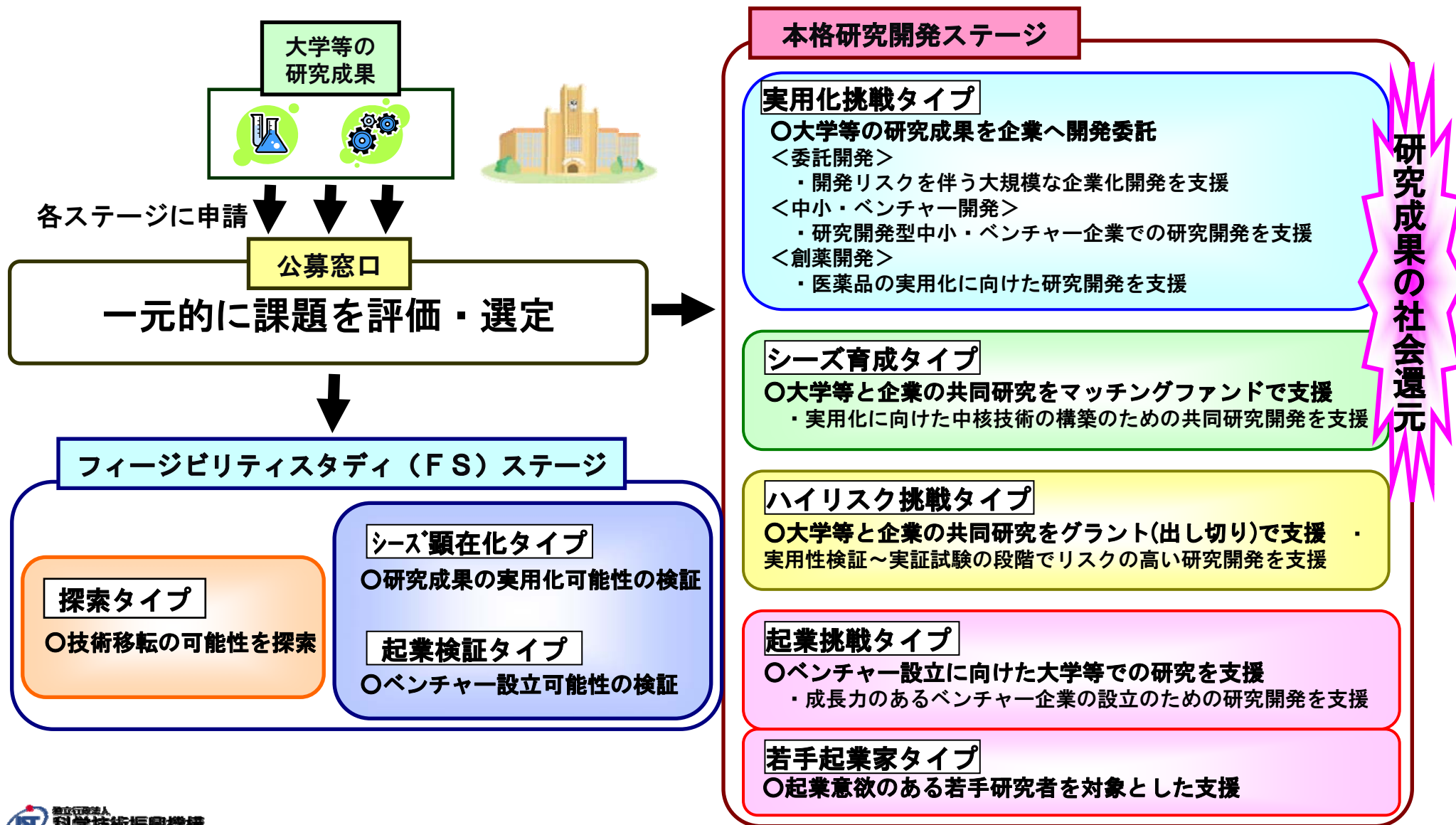
産業界における技術課題解決の加速や、産業界の視点・知見のフィードバックによる大学等の基礎研究の活性化を図る

● 戦略的イノベーション創出推進プログラム(公募)

JSTの戦略的創造研究推進事業等から生み出された技術成果を基に、産学のコンソーシアム形式で実用化を目指す

研究成果最適展開支援プログラムA-STEPのスキーム

大学と企業のマッチングの段階から企業との本格的な共同研究開発に至るまで、課題ごとに最適なファンディング計画を設定し、大学等の研究成果を実用化につなぐための産学共同研究に対する総合的な支援を実施。



研究成果最適展開支援プログラムA-STEPの目的

課題それぞれの「研究開発段階」や「開発リスク」に合わせ、イノベーションの効果的創出のため、大学シーズの実用化を目指します

✓ 研究開発フェーズのどの段階からでも申請可能

平成20年度まで7つあったプログラムをA-STEPにまとめ、公募窓口を一本化

✓ 異なるタイプの支援をシームレスに実施可能

複数の支援タイプを組み合わせて、長期の研究開発が実施可能

※但し、異なる支援タイプに移行する際は支援継続の是非を判断する評価を実施

✓ 研究開発の効率性アップのため研究開発計画のアドバイス

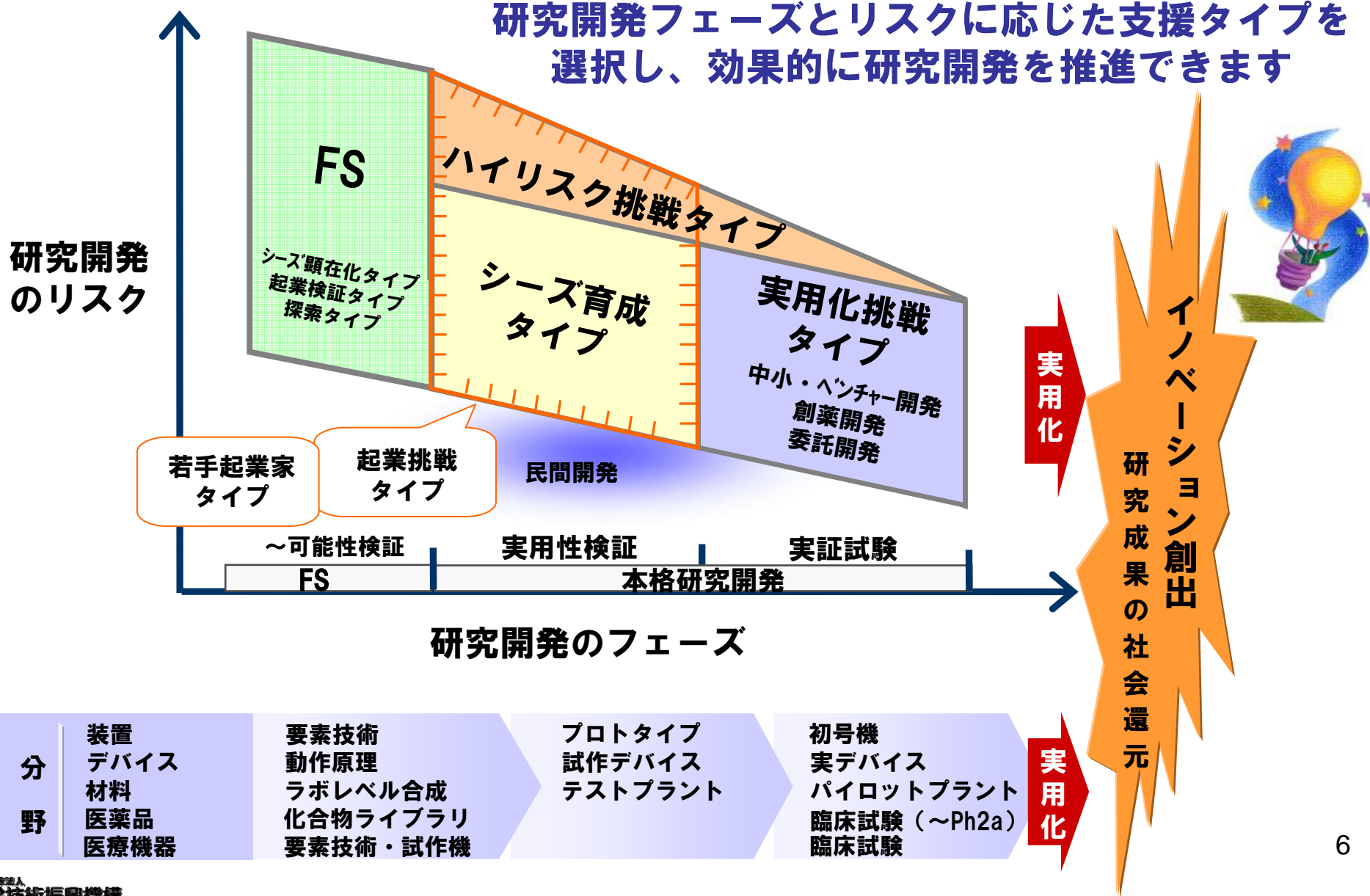
効果的・効率的な研究開発実施のため外部有識者・JSTによる研究計画の最適化を図ります

A-STEPの意味

Adaptable and Seamless Technology Transfer Program through Target-driven R&D

支援タイプの対応図

研究開発フェーズとリスクに応じた支援タイプを選択し、効果的に研究開発を推進できます



A-STEPの支援タイプ（平成23年度）

		フィージビリティスタディ (FS)			本格研究開発						
支援タイプ		探索	シーズ顕在化	起業検証	若手起業家	起業挑戦	ハイリスク挑戦	シーズ育成	中小・ベンチャー開発	創業開発	委託開発
申請者の要件 (共同申請)		研究者 ^{※1} コーディネータ等 ^{※2} 企業の研究開発関係者の協力がある場合は研究者 ^{※1}	研究者 ^{※1} 企業	研究者 ^{※1} 側面支援機関 ^{※4}	研究者 ^{※1} 起業支援組織 ^{※5}	研究者 ^{※1} 起業家 ^{※3} 側面支援機関 ^{※4}	研究者 ^{※1} 企業	研究者 ^{※1} 企業	企業 (研究者 ^{※1})	企業 (研究者 ^{※1})	企業 (研究者 ^{※1})
研究開発規模	基準額 (上限額) 間接経費込	基準額 170万円 (~300万円)	基準額 800万円 (~1000万円)		4500万円 (総額)	1億5000万円 (総額)	2000万円 (総額)	JST支出総額 2億円 (企業負担を上限)	3億円 (総額)	10億円 (総額)	20億円 (総額)
	開発期間 (最長)	8ヶ月	1年		3年	3年	2年	4年	5年	5年	7年
開発費の性格		グラント	グラント	グラント	グラント	グラント	グラント	マッチングファンド	売上げに応じて実施料を納付		成功：開発費返済 不成功：90%返済免除 売上げに応じて実施料を納付

※1 研究者とは、日本国内の大学あるいは公的研究機関等（大学等）に常勤として所属する者を指します。ただし若手起業家タイプに関しては、博士の学位を取得している者博士課程満期退学者あるいは博士課程後期在学中の学生を指します。

※2 コーディネータ等とは、大学等の公的研究機関の研究成果を発掘し、研究シーズや企業ニーズのマッチング、研究シーズの育成、研究成果の各種制度や企業への橋渡しを主たる業務としており、国・地方公共団体・非営利団体・公的機関・大学等（株式会社TLOを含む）に属している者を指します。

※3 起業家とは、起業の観点から研究開発の方向付け、指導、助言ができる個人であって、マネジメント業務に責任を持つ者（1人）を指します。

※4 側面支援機関とは、日本国内に法人格を有する機関であり、マーケティング支援等、起業に向けた側面支援を実施する機関を指します。

※5 起業支援組織とは、大学等に所属しているベンチャー・ビジネス・ラボラトリー等であり、JST起業研究員をアントレプレナーとして育成するために必要な支援（研究施設・設備の提供、事業計画作成や市場調査への支援や助言等）を行う組織を指します。

— 注意事項 —

① 募集締切

★探索タイプ

9月15日(木) 12時(正午)

★シーズ顕在化タイプ、起業検証タイプ

9月20日(火) 12時(正午)

② 課題申請書

フォーマットが変更されています。

平成23年度第一回(募集期間:平成23年2月14日~5月11日)で
用いたフォーマットは**利用できません**ので、ご注意願います。

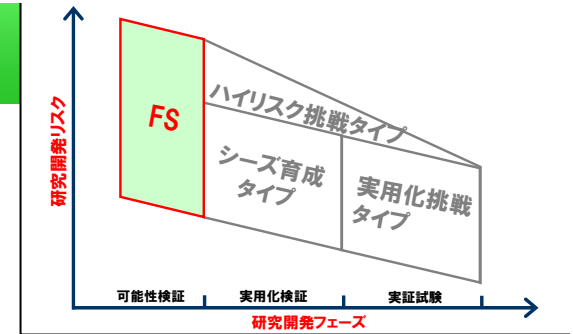
フイージビリティスタディ・ステージ

フィージビリティスタディ

探索タイプ

Ⅰ 研究開発フェーズ・主旨

大学等の研究者と各種コーディネータ等が対話を通じて、基礎研究のうち技術移転の可能性を探索すべく課題について実用化に向けた研究開発を支援するとともに、コーディネート活動を促進することを目的としています。



Ⅰ 研究開発資金

基準額170万円（間接経費含む）

特段の事情がある場合に限り、理由を付して、総額300万円まで申請可。←審査の対象とします。

Ⅰ 研究開発期間

8ヶ月間

Ⅰ 応募の要件

(1)研究責任者（大学等の研究者）とコーディネータ等の共同申請

(2)企業の研究開発関係者のコメントを付した研究責任者の申請

e-Radでの申請は、(1)ではコーディネータ等が代表して行う。(2)では研究責任者が行う。

※同一の研究責任者による複数の課題申請は認めません。

Ⅰ 選考方法

書類審査のみ

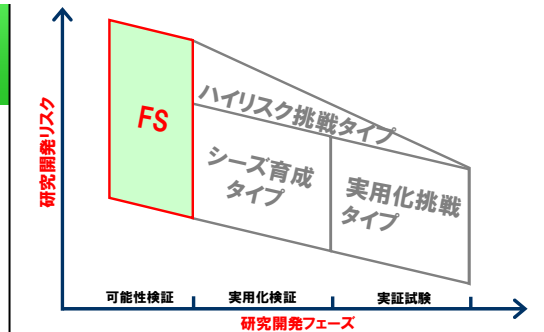
書類審査による評価の精度を上げるため、e-Radの重点研究分野コードの他に探索タイプ専用の番号・キーワード記入欄を設けましたので、ご理解の上、両方とも記入いただけますようお願いいたします。

フィージビリティスタディ

探索タイプ

府省共通研究開発管理システム (e-Rad) 申請者

記入箇所



(1) コーディネータ等が見解を記入する場合

コーディネータ等

e-Rad申請

JST

必須項目です。
 該当部門が無い場合は、所属学部・研究科の部長を記入してください。了解が得られていない場合、採択が取り消される場合があります。

2. 申請者情報

注5 大学等 (コーディネータ等)	所属機関名					
	コーディネータ氏名			コーディネータフリガナ		
	所属部署				役職	
	郵便番号	000-0000	住所			
	TEL	000-000-0000	FAX	000-000-0000	e-mail	xxxxxxxx@xxx.xx.xx
	e-Rad 情報	研究者番号: 8桁の数字		所属研究機関コード: 10桁の数字		
注6 大学等 (研究責任者)	研究機関名					
	研究責任者氏名			研究責任者フリガナ		
	所属部署				役職	
	郵便番号	000-0000	住所			
	TEL	000-000-0000	FAX	000-000-0000	e-mail	xxxxxxxx@xxx.xx.xx
	e-Rad 情報	研究者番号: 8桁の数字		所属研究機関コード: 10桁の数字		
注7 大学等 (知的財産部門・産学連携部門)	所属機関名					
	代表者氏名			代表者フリガナ		
	所属部署				役職	
	郵便番号	000-0000	住所			
	TEL	000-000-0000	FAX	000-000-0000	e-mail	xxxxxxxx@xxx.xx.xx
	e-Rad 情報	研究者番号: 8桁の数字		所属研究機関コード: 10桁の数字		

記入箇所

(2) 企業の研究開発関係者に見解を求める場合

研究責任者

e-Rad申請

JST

注8
企業の研究開発関係者

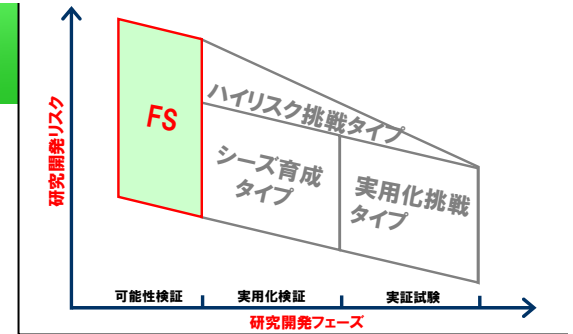
所属機関名					
氏名			フリガナ		
郵便番号	〒	住所			
TEL	000-000-0000	FAX	000-000-0000	e-mail	xxxxxxxx@xxx.xx.xx

フイージビリティスタディ

探索タイプ

探索タイプ専用コード表

(コード表は科研費分類コードを元としております)



(様式1)より

技術要素として優先度の高い順に2～3個選択して下さい。

用途として優先度の高い順に0～2個選択して下さい。

技術要素	1 (必須)	2 (必須)	3 (任意)
キーワード	(例) 生物活性物質	(例) 生物機能工学	
コード	○○○○○ (例) 6104A	○○○○○ (例) 5504B	
用途	1 (任意)	2 (任意)	
注4 キーワード	(例) 食品機能		
注4 コード	○○○○○ (例) 6105F		

※ 査読者決定の際の参考といたします。

(記入例1)「技術要素」: 生物活性物質6104A、生物機能工学5504B

「用途」: 食品機能6105F

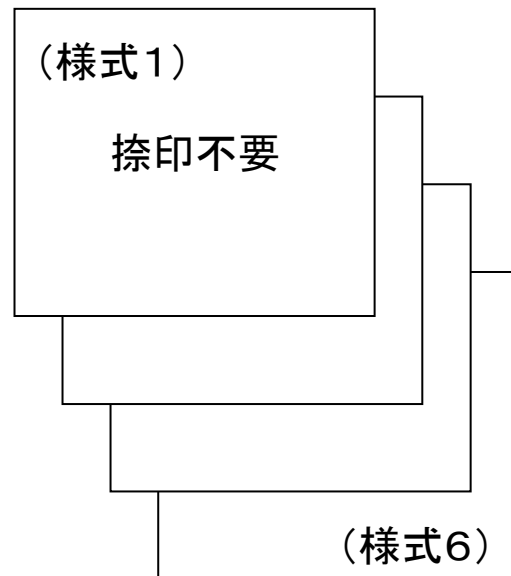
(記入例2)「技術要素」: 知能ロボット1006H、自立システム1006M、情報機器・知能機械システム5007F

「用途」: 福祉・介護用ロボット1303R

(記入例3)「技術要素」: 生物機能工学5504B、光制御4903P

「用途」: 核酸治療1955H、ドラッグデリバリー7002P

e-Radによる提出

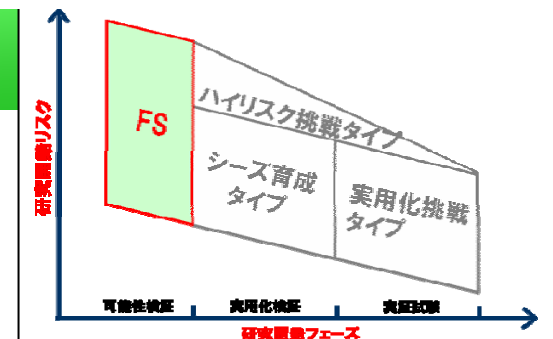


様式すべてを1つのファイル
(word版またはPDF版)にまと
めてからアップロード

基準額を超えて申請する場合
は(別紙)も添付

フィージビリティスタディ

シーズ顕在化タイプ



Ⅰ 研究開発フェーズ・主旨

大学等の基礎研究のうち産業界の視点（企業ニーズ）で見出されたシーズの候補を対象に、シーズとしての実現可能性を産学共同で検証する挑戦的な研究開発を支援

Ⅰ 研究開発資金

基準額800万円（間接経費含む）

基準額を超える申請（総額1,000万円を上限）は別途審査対象

Ⅰ 研究開発期間（原則）

最長1年

Ⅰ 応募の要件

企業責任者（研究開発実施企業）と研究責任者（大学等の研究者）の共同申請。企業責任者が研究開発代表者となる

Ⅰ 選考方法

書類審査のみ

シーズ顕在化タイプ 申請書類

e-Radによる提出

課題申請書
(様式1~8)
押印不要

wordまたはPDFに
まとめてからアップ
ロード

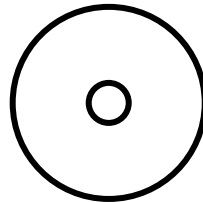
基準額を超えて申
請する場合は(別
紙)も添付

簡易書留または宅配便による提出

紙媒体
課題申請書
6部

課題申請書
(様式1~8)
押印不要

CD-R 1枚



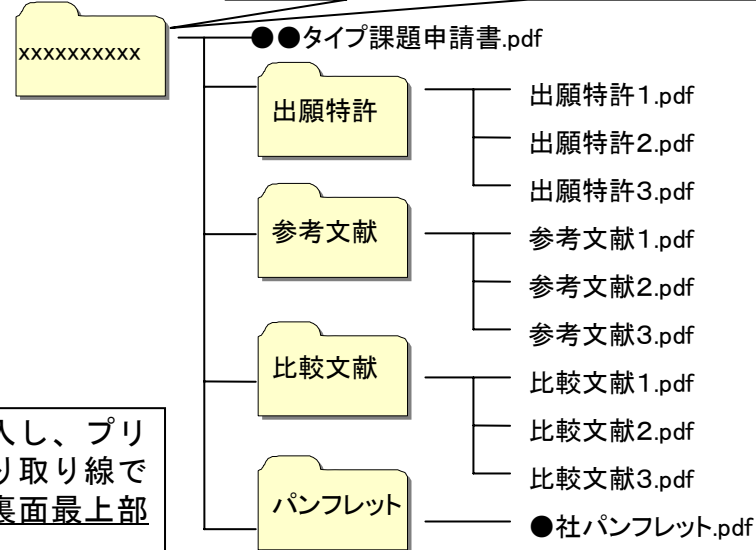
CD-R表面に課題名、プロジェクトリーダー名(所属、氏名)を明記して、データはWordあるいは、PDF形式として、フォルダ構成、フォルダ名は下記に従って下さい(WEBよりダウンロードできます)。また、Windowsで読み込み可能なフォーマットとしてください。

フォルダ名は、e-Rad申請時に課題ごとに付与される21桁の番号の下10桁(半角)(公募要領共通事項P.28参照)としてください。

左上ホチキス止め
左長辺2穴パンチ
下中央に通し頁(-1-)

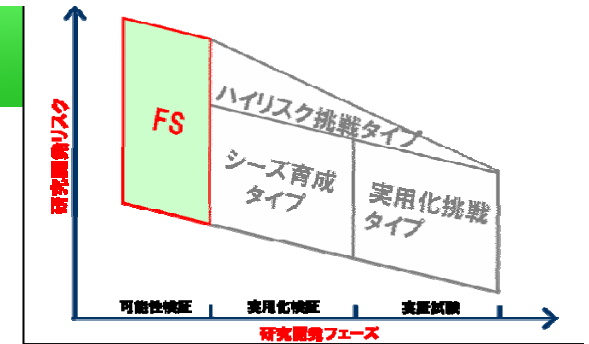
基準額を超えて申請
する場合は(別紙)も
添付

申請書末尾の送付票を記入し、プリントアウトした上で、切り取り線で切り取って、応募封筒の裏面最上部に貼り付けて下さい。



フィージビリティスタディ

起業検証タイプ



Ⅰ 研究開発フェーズ・主旨

大学等の研究成果に基づくベンチャー企業設立に向け
研究開発を本格的に推進するにさきがけ、
起業の可能性を検証する挑戦的な研究開発を支援

Ⅰ 研究開発資金

基準額800万円（間接経費・一般管理費を含む）
基準額を超える申請（総額1,000万円を上限）は別途審査対象

Ⅰ 研究開発期間（原則）

最長1年

Ⅰ 応募の要件

研究責任者（大学等の研究者）と側面支援機関※の共同申請
・大学等の研究成果に基づくシーズ（特許等）が存在すること

Ⅰ 選考方法

書類審査のみ

Ⅰ 備考

※側面支援機関とは、日本国内に法人格を有する機関であり、
マーケティング支援等、起業に向けた側面支援を実施する機関

起業検証タイプ 申請書類

e-Radによる提出

課題申請書

(様式1~7)

押印不要

wordまたはPDFに
まとめてからアップ
ロード

基準額を超えて申
請する場合は(別
紙)も添付

簡易書留または宅配便による提出

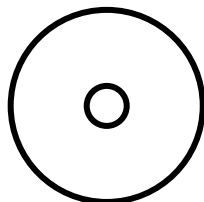
紙媒体
課題申請書
6部

課題申請書

(様式1~7)

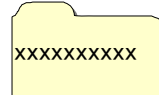
押印不要

CD-R 1枚



CD-R表面に課題名、プロジェクトリーダー名(所属、氏名)を明記して、データはWordあるいは、PDF形式として、フォルダ構成、フォルダ名は下記に従って下さい(WEBよりダウンロードできます)。また、Windowsで読み込み可能なフォーマットとしてください。

フォルダ名は、e-Rad申請時に課題ごとに付与される21桁の番号の下10桁(半角)(公募要領共通事項P.28参照)としてください。



●●タイプ課題申請書.pdf

出願特許

出願特許1.pdf

出願特許2.pdf

出願特許3.pdf

参考文献

参考文献1.pdf

参考文献2.pdf

参考文献3.pdf

比較文献

比較文献1.pdf

比較文献2.pdf

比較文献3.pdf

パンフレット

側面支援機関パンフレット.pdf

左上ホチキス止め
左長辺2穴パンチ
下中央に通し頁(-1-)

基準額を超えて申請
する場合は(別紙)も
添付

申請書末尾の送付票を記入し、プリントアウトした上で、切り取り線で切り取って、応募封筒の裏面最上部に貼り付けて下さい。

- ①課題の独創性(新規性)及び優位性
- ②目標設定の妥当性
- ③イノベーション創出の可能性
- ④提案内容の実行可能性

選考方法は書類審査のみです

研究開発費

①直接経費

a. 物品費(設備備品費)

設備・物品等の購入、製造、又は据付等

b. 物品費(消耗品費)

原材料、消耗品、消耗器材、薬品類等

c. 旅費

試料収集、各種調査、研究開発の打合せ、成果発表等に伴う移動や宿泊

d. 人件費・謝金

大学等における研究開発に従事するポスドクおよび研究補助員の従事率に応じた雇用等に要する人件費
研究開発等を実施するために必要であり、臨時的に発生する役務の提供などの協力を得た人への謝礼

e. その他(外注費)

データ分析等の請負業務を仕様書に基づいて、第三者に業務を実施させる(外注する)際の経費

g. その他(その他経費)

当該研究開発を遂行するための経費で他の費目に該当しない経費、
かつ、個別把握可能な経費(印刷費、調査費、施設及び設備賃借料等)

②再委託費

研究開発課題の一部を第三者(例:発明者等が所属する機関等)に業務委託するために必要な経費
(JSTの承認が必要)

③間接経費

FSに関連した研究環境の改善や機能向上のための経費で、①直接経費の30%を上限

◎申請書類(様式)の入手方法

e-Radで受付中の公募一覧を確認して、公募要領と申請様式をダウンロードします。

もしくは、JSTホームページからもダウンロードできます。

<http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/index.html>

◎府省共通研究開発管理システム(e-Rad)による応募

<http://www.e-rad.go.jp/>

◎A-STEP用e-Rad申請マニュアル

<http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/index.html>

上記のURLを参考に申請ください。

◎申請に先立ち、研究開発機関の登録が必要です。

登録手続きは日数を要する場合がありますので、2週間以上の余裕を持って登録手続きを行って下さい。

一度登録が完了すれば、他制度での応募の際再度登録する必要はありません。

また、他制度で既に登録済みの場合、再度登録する必要はありません。

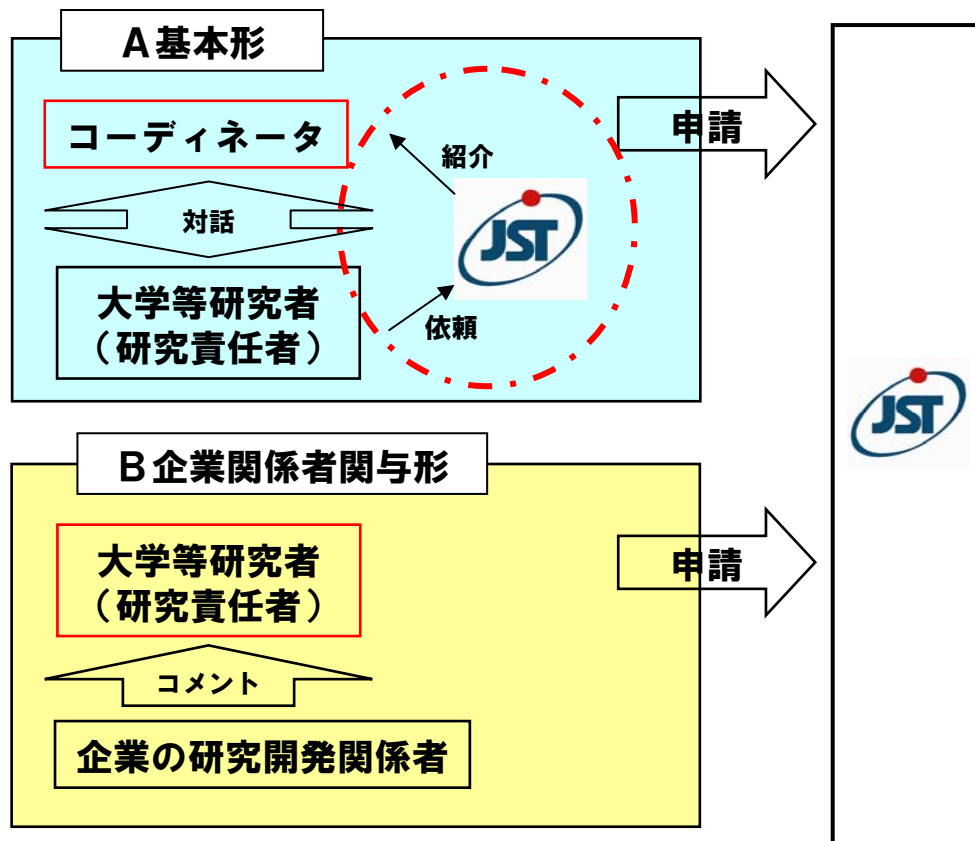
◎コーディネータ等による探索タイプへの応募に際しては、e-Radへのコーディネータ等の研究者登録が必要です。

詳しくは所属機関のe-Rad担当者へご確認ください。

◎次のタイプへの応募に際しては、申請時の捺印が不要です。

フィジビリティスタディ(FS)ステージ:全タイプ

産学官連携支援データベースへの登録のお願い



JSTでは、A-STEP探索タイプへの大学等の研究者の応募に際し、コーディネータ*が見つからない研究者へ、JSTが運営する「産学官の道しるべ」内にある産学官連携支援データベースより、産学官連携従事者を紹介することを考えております。

各機関のコーディネータなど、産学官の連携業務に従事されている皆様へ、産学官連携従事者として登録をお願いします。

※ コーディネータとは、大学等の公的研究機関の研究成果を発掘し、研究シーズや企業ニーズのマッチング、研究シーズの育成、研究成果の各種制度や企業への橋渡しを主たる業務としており、国・地方公共団体・非営利団体・公的機関・大学等(株式会社TLOを含む)に属している方々を指します。

なお、産学官連携支援データベースでは「産学官連携従事者」と総称しております。22

産学官連携支援データベースへの登録のお願い

産学官の道しるべ <http://sangakukan.jp/> へアクセスして

The screenshot shows the website interface. In the top navigation bar, the button '産学官連携従事者を探す' (Find industry-academia cooperation staff) is circled in red with a red arrow pointing to it and the word 'クリック' (Click). Below this, the 'お問い合わせ' (Contact Us) button is also circled in red with a red arrow pointing to it and the word 'クリック' (Click). The contact form includes fields for name, affiliation, email, phone number, and a dropdown menu for the contact title. A red arrow points from the text 'この問い合わせウィンドウからデータベース登録を依頼ください。' (Please request database registration from this contact window.) to the contact form.

お問い合わせ

お問い合わせフォーム

こちらから、各データベースの新規登録・削除のみ受け付けを行っております。該当する「お問い合わせタイトル」を選択し、内容をご記入ください。折り返し御連絡させていただきます。 ※一部ご希望に添えない場合もございます。

★は入力必須項目です

お名前★	<input type="text"/>
所属★	<input type="text"/>
E-mailアドレス★	<input type="text"/>
電話番号★ (半角数字)	<input type="text"/> - <input type="text"/> - <input type="text"/>
お問い合わせタイトル	選択してください
お問い合わせ内容	<input type="text"/>

確認画面 クリア

うまく送信できない場合には sgk_db_admin@sangakukan.jp まで直接メールを送ってください。

募集スケジュール 審査・契約までのプロセス

募集スケジュール

探索タイプ

8月1日(月)～9月15日(木)12時(正午)

シーズ顕在化タイプ、起業検証タイプ

8月1日(月)～9月20日(火)12時(正午)

審査・契約までのプロセス

探索タイプ

9月15日(木)12時	応募締切
9～10月頃	形式・書類審査
11月頃	採択・契約
12月頃	研究開発開始

シーズ顕在化タイプ、起業検証タイプ

9月20日(火)12時	応募締切
9～12月頃	形式・書類審査
1月頃	採択・契約
2月頃※	研究開発開始

※申請者の希望により、4月開始も可能

予定採択件数

採択件数(予定)

探索タイプ

第2回募集:800課題程度

シーズ顕在化タイプと起業検証タイプ

第2回募集:合わせて100課題程度

本格研究開発ステージの公募はありません

(採択課題の予算規模や支援タイプ毎の課題数により増減があります)

Promoting Technology Transfer and Innovation

JST産学連携の「研究費・情報・人」総合窓口のWebサイト



<http://www.jst.go.jp/tt/>

Technology Transfer

『JSTの技術移転の情報へ分かる』総合窓口Webサイト「tt」

Technology Transfer

「お気に入り」に登録いただき、「tt」で旬の情報を確認ください



「最近の技術シーズや研究者はどうやって探すの？」

「公的研究資金にはどのような制度があるの？」

etc.

毎月15日には産学連携のヒントがたくさんつまった『産学官連携ジャーナル』Web版もご覧頂けます。

お問い合わせ先

(独) 科学技術振興機構 産学連携展開部 事業推進(募集・探索)担当

<http://www.jst.go.jp/a-step/>
Tel:03-5214-8994

e-mail:a-step@jst.go.jp
Fax:03-5214-8999

たくさんのご応募をお待ちしております。

お問い合わせ先

(独) 科学技術振興機構 産学連携展開部 事業推進 (募集・探索) 担当

<http://www.jst.go.jp/a-step/>
Tel: 03-5214-8994

e-mail: a-step@jst.go.jp
Fax: 03-5214-8999